

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概 要
(著書(欧文)) 1.				
(著書(和文)) 1 『はじめての韓国語 基礎から会話へ』	単著	2017年3月	三恵社	1~106頁
2 『はじめての韓国語 基礎から会話へ 改 訂版』	単著	2018年3月	三恵社	1~106頁
3 『原典 朝鮮近代思 想史』第二巻	共著	2022年3月	岩波書店	146~163頁、168~171頁、188~207頁
(学術論文(欧文)) 1.				
(学術論文(和文)) 1 「朝貢関係」と「条 約関係」からみる近 代朝鮮の外交政策	単著	2001年3月	東京大学大学院 人 文社会系研究科 修 士論文	1~240頁
2 近代朝鮮の外交政策 の一側面 —「朝貢 関係」と「条約関 係」—	単著	2002年7月	『朝鮮学報』第184 輯	77~116 頁
3 回顧と展望 (朝鮮 近・現代史)	単著	2003年5月	『史学雑誌』2003年 5月号	264~268 頁
4 近代移行期における 朝鮮の外交と政治	単著	2008年1月	東京大学大学院人文 社会系研究科博士論 文予備論文	1~112頁
5 「一八八〇年代初頭 における朝鮮の対清 交渉—「中国朝鮮商 民水陸貿易章程」の 締結を中心に—	単著	2013年1月	『朝鮮学報』第226 輯 ※『中国関係論 説資料』第55号に採 録	1~43頁
6 外国語学習と異文化 研究——動機づけの 問題を中心に	単著	2013年9月	日本女子大学文学 部・文学研究科『異 文化を学ぶことと語 学習得報告集』	31~41頁
7 清の游智開と朝鮮の 朝貢使節——領選使 の派遣を中心に	単著	2016年3月	『韓国朝鮮文化研 究』第15号	39~58頁

8 清の知識人と燕行使の交流から見る人的ネットワークの構築——董文煥の日記および詩文を手掛かりに	単著	2018年3月	『韓国朝鮮文化研究』第17号	1～22頁
9 1881年、魚允中の清国行きについて	単著	2021年3月	『韓国朝鮮文化研究』第20号	1～24頁
(紀要論文)				
1 近代移行期における朝鮮の政府機構新設——統理機務衙門を中心に	単著	2014年10月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第32巻第1号	47～58頁
2 「近代」移行期の東アジア知識人の人的ネットワークについての基礎研究 (一)——興亜会・亜細亜協会を中心に	共著	2018年9月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第36巻第1号	1～10頁
3 「近代」移行期の東アジア知識人の人的ネットワークについての基礎研究 (二)——興亜会・亜細亜協会と中国人との詩文による交流を中心に	共著	2019年3月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第36巻第2号	15～38頁
4 「近代」移行期の東アジア知識人の人的ネットワークについての基礎研究 (三)——第二次修信使金弘集一行の日本滞在を中心に	共著	2019年9月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第37巻第1号	31～44頁
5 「近代」移行期の東アジア知識人の人的ネットワークについての基礎研究 (四)——「韓人筆話」をめぐって	共著	2020年9月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第37巻第1号	17～29頁
(辞書・翻訳書等)				
1 〈中国語→日本語〉林満紅著「日本統治時代台湾経済史の研究：視覚と視野」	単著	2004年12月	鹿児島国際大学附置地域総合研究所編『地域総合研究』第32巻第1号	121-150頁
2 〈中国語→日本語〉林満紅著「台湾学者の近代華商歴史論：学術環境と解釈の趨勢」	単著	2005年3月	中村哲編著『東アジア資本主義形成史 I 東アジア近代経済の形成と発展、第1章』、日本評論社	23～54 頁

3	〈中国語→日本語〉 任曉著「中国第四世 代指導者の執政理 念」	単著	2005年3月	鹿児島国際大学附置 地域総合研究所編 『地域総合研究』第 32巻第2号	15～24 頁
4	〈中国語→日本語〉 王玉茹著「中国近代 の家族規模に関する	単著	2006年2月	中村哲編著『東アジ ア資本主義形成史Ⅱ 1930年代の東アジア	85～104頁
5	〈韓国語→日本語〉 裴宗鎬『朝鮮儒学 史』	単著	2007年1月	川原秀城監訳『朝鮮 儒学史』、知泉書店	*執筆分：第7章「唯気論と唯理論お よび理気折衷論」265～320 頁。
6	〈中国語→日本語〉 馮偉著「日中両国 『戦時金融体制』に 対する歴史的考察お よび比較分析」	単著	2007年2月	鹿児島国際大学附置 地域総合研究所編 『地域総合研究』第 34巻第2号	89～101 頁
7	〈韓国語→日本語〉 金炫榮著「朝鮮時代 地方官衙門的記録生 産与保存」	単著	2007年3月	『歴史的アーカイブ ズの多国間比較に関 する研究』平成16年 度研究成果年次報告 書、平成16～19年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A) (2) 【課題番号 16202013】研究代表 者：渡辺浩一 小島毅ほか編『東亞 的王権与政治思想』 (復旦大学出版社	84～92 頁
8	〈日本語→中国語〉 『東亜的王権与政治 思想』	単著	2009年7月	復旦大学出版社	*執筆分：山内弘一著「19世紀前半 朝鮮王朝の小中華意識及王権論」148 ～160頁
(報告書・会報等)					
1	一八七九年以降の朝 鮮をめぐる東アジア 国際関係——朝米条 約を中心に	単著	1999年12月	『朝鮮史研究会会 報』139号	21～24頁
2	〈書評〉權赫秀著 『19世紀末韓中関係 史研究——李鴻章の 朝鮮認識と政策を中 心に』	単著	2002年3月	『朝鮮史研究会会 報』147号	33～36頁
3	政府機構の改編から 見た「近代」像—— 統理機務衙門を中心 に	単著	2002年7月	『朝鮮史研究会会 報』149号	15～18頁
4	中国朝鮮水陸貿易章 程と朝鮮側の思惑	単著	2003年3月	『朝鮮史研究会会 報』155号	31～33頁
5	〈本の紹介〉月脚達 彦著『朝鮮開化思想 とナショナリズム— —近代朝鮮の形成』	単著	2010年10月	『韓国朝鮮の文化と 社会』第9号、風響 社	207～209頁
6	〈書評〉酒井裕美著 『開港期朝鮮の戦略 的外交 1882- 1884』大阪大学出版 会、2016年	単著	2018年3月	『朝鮮史研究会会 報』209号	6～10頁

<p>(国際学会発表)</p> <p>1. 国際シンポジウム 「異文化を学ぶこと と語学習得」</p>	<p>単著</p>	<p>2013年7月</p>	<p>日本女子大学文学 部・文学研究科主催</p>	
<p>(国内学会発表)</p> <p>1. 報告 一八七九年以 降の朝鮮をめぐる東 アジア国際関係—— 朝米条約を中心に</p> <p>2. 報告 近代朝鮮にお ける二重外交体制の 成立——「朝貢関 係」と「条約関係</p> <p>3. 書評 權赫秀著『19 世紀末韓中関係史研 究——李鴻章の朝鮮 認識と政策を中心 に』</p> <p>4. 報告 政府機構の改 編から見た「近代」 像——統理機務衙門 を中心に</p> <p>5. 報告 中国朝鮮水陸 貿易章程と朝鮮側の 思惑</p> <p>6. 報告 領選使派遣か ら見る1880年代初頭 における朝鮮と清と の交渉</p> <p>7. 報告 書評「酒井裕 美著『開港期朝鮮の 戦略的外交 1882- 1884』、2016年)」</p> <p>8. 報告 清の知識人と 燕行使の交流から見 る人的ネットワーク の構築</p> <p>9. 報告 「紳士遊覧 団」メンバーの清国 公使館を通して形成 される人脈—魚允中 の清国行きを例に—</p> <p>10. 報告 『大河内文 書』にある第二次修 信使との筆談（『韓 人筆話』）について</p>	<p>単独</p> <p>単独</p> <p>単独</p> <p>単独</p> <p>単独</p> <p>単独</p> <p>単独</p> <p>単独</p> <p>単独</p> <p>単独</p>	<p>1999年9月</p> <p>2001年10月</p> <p>2001年12月</p> <p>2002年3月</p> <p>2003年12月</p> <p>2012年10月</p> <p>2017年1月</p> <p>2017年10月</p> <p>2019年3月</p> <p>2019年10月</p>	<p>朝鮮史研究会例会</p> <p>朝鮮学会第52回大会</p> <p>朝鮮史研究会例会</p> <p>朝鮮史研究会例会</p> <p>朝鮮史研究会例会</p> <p>韓国・朝鮮文化研究 会第13回大会</p> <p>朝鮮史研究会例会</p> <p>朝鮮学会第68回大会</p> <p>朝鮮史研究会例会</p> <p>韓国朝鮮文化研究会 第20回研究大会（於 東北学院大学）</p>	

11. 報告 清国公使館を中心に形成される「近代」東アジア知識人のネットワーク	単独	2020年3月	シンポジウム「西洋」の出現と東アジア知識人の人的ネットワーク」（於日本女子大学）	
(演奏会・展覧会等) 1.				
(招待講演・基調講演) 1 ハングル、陰陽五行、そして漢方	個人	2015年3月	聖路加国際大学「多言語・多文化対応力育成プロジェクト」：『多言語を学ぶ×多言語から学ぶ＝自分パワーアップ計画2015』	
(受賞(学術賞等)) 1.				

研 究 活 動 項 目

助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等の別	種 類	採択年度	交付・受入元	交付・受入額	概 要
(科学研究費採択) 1 「近代」移行期の東アジアにおける知識人の人的ネットワーク形成に関する調査と研究	代表	基盤(C) 17K03142	2017～ 2019年度	常磐大学	4,290千円	
2 環太平洋地域のトランスナショナル・ネットワークとアジア系移民排斥	分担	基盤(C) 22K00836	2022～ 2027年度	千葉大学	3,770千円	
(競争的研究助成費獲得(科研費除く)) 1.						
(共同研究・受託研究受入れ) 1.						

(奨学・指定寄付金受入れ)						
1. 韓国国際交流財団 フェローシップ	単独		2001年度	東京大学	10000 <sup>ドル</sup>	
韓国国際交流財団 フェローシップ	単独		2002年度	東京大学	10000 <sup>ドル</sup>	
韓国国際交流財団 フェローシップ	単独		2003年度	東京大学	10000 <sup>ドル</sup>	
(学内課題研究(共同研究))						
1.		—		—		
(学内課題研究(各個研究))						
1.	—	—		—		
(知的財産(特許・実用新案等))						
1.	—			—	—	